

令和7年 第3回定例会 一般質問通告表

NO. 1

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
1	2	望月 清貴	1 環境衛生	ごみ処理手数料の改定案と町民の負担軽減について	<p>次期中間処理施設の稼働に向け、令和9年4月からの新たな指定ごみ袋の種類と、ごみ処理手数料の改定案が示された。 8月には各自治会での説明会も行われ、町民からの意見、要望も寄せられていると考えるが、確認すべき事項について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 各自治会説明会での主な質疑、意見・要望はどのようなものだったか。 提示された案には紙おむつ専用ごみ袋とその料金の設定がなく、そのままでは大幅に負担が増加すると思われるが、導入の考えはないのか。 また、導入した場合の手数料収入の減収推計はどの程度か。 想定処理経費の変動により、炭化ごみの手数料は減少する見込みだが、燃やせないごみ(現行の埋め立て一般ごみ)の手数料が倍増する見込みとなっている。 物価の高騰に対して、賃金や年金収入が追いつかない厳しい状況の中、約20年前からの経費増加等をいきなり反映するのではなく、据置きや数年間の経過措置を設定するなど、町民生活に配慮すべきではないか。 また、据置きの場合や、例えば経過措置を3年間で行う場合など、手数料の減収推計は。 ごみ処理体制の変更に合わせた改善案の一つとして、緊急時などの炭化ごみの受け入れ(リサイクルセンター)を検討できないか。 	町長
			2 行政	非正規公務員の報酬等の改定について	<p>会計年度任用職員(いわゆる非正規公務員)の雇用条件は、令和2年度の制度開始から順次改善されているが、本町においては人事院勧告に準じた正規職員の給与改定及び町特別職、議会議員の期末手当支給率の改定は年度内に遡及して行われるものの、会計年度任用職員の報酬改定は翌年度に1年間遅れて行われている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 国の通知等に沿って、会計年度任用職員の報酬等についても、正規職員に準じて年度内に遡及して改定を行うべきでないか。 	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
2	7	小口 英治	1 行政	保育園留学を取入れて空き家対策に繋げる考えは	<p>当町の名前の由来はアイヌ語で石の多いところが、語源となっている。</p> <p>美しい街を連想させる響きの良い町名と思うが、街区の歯抜け、空き家、荒廃した家屋など町名から受けるイメージが、崩れつつある状況となっています。</p> <p>過去にも空き家対策の質問が数回あり、6月定例会でも空き家や住環境での一般質問があり、町長答弁で空き家対策に重点を置いた実態調査、内容を協議検討したい旨を述べていたが、早急な取り組みを望んでいる。</p> <p>議会運営委員会で厚沢部町を視察したが、取組のひとつに保育園留学があり、移住、定住につながる体験住宅の利用実績が R6で168家族、リピート率も91%を超えており、空き家の有効利用と環境美化にもつながると思う。</p> <p>当町では山村留学を実施しているので保育園留学も取入れ、トータルでの学習機会を創出し、留学による空き家対策等に繋げてみてはどうかと考えるがいかがか。</p>	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
3	4	名取 明美	1 社会福祉	未来の認知症対策について	<p>美深町では、令和2年に美深町認知症と介護のガイドブックを作成し、認知症についての知識、理解を深めるためのガイドブックとして活用されています。美深町の認知症対策の構築から5年が経過し、現在の進捗状況と未来の方向性を次の項目について町長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ゆっくり過ごせる場所として認知症の方々の立ち寄り所(ふれあいと憩いなど)を創設する考えはないか伺います。 2 散歩時の安全・安心確保のための熊対策グッズ(熊鈴・熊笛・熊よけホーン等)を配布する考えはないか伺います。 3 オレンジかふえの開催を月1回から2回に増やし、活性化を図る考えはないか伺います。 4 令和6年、警察庁の報告に認知症行方不明者、18,121人で前年より918人減少しましたが依然として高い水準です。発見時に死亡が確認された方491人で、GPSを所持して発見された行方不明者は111人で、全員生存されていました。認知症の行方不明者対策としての「見守りGPS」などを活用する考えはないか伺います。 	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
4	1	木下 広悠	1 商工・観光	地方課題解決策サテライトオフィスの誘致について	<p>現在、多くの企業がサテライトオフィスを地方に開設する流れが強まっており、2021年度末の開設状況は日本全国で1,348か所、道内においては110か所開設されている。</p> <p>自治体がサテライトオフィスを誘致する事のメリットは移住者の増加、地域雇用機会の拡大、交流人口の増加、空き家や空き店舗の活用等があり、今後の美深町を考えていく上で力を入れていく意味のある事業と考えるので以下について質問する。</p> <p>1 令和3年度の産業教育常任委員会の所管事務調査報告において「空き店舗、空き家の活用による将来的な企業誘致に繋がるサテライトオフィスの可能性については、現状把握として空き家や空き店舗の状況把握調査を実施し、登録等へ繋がる施策を実施すべきである」と言及されているが、4年を経た現在の立場や進捗状況は。</p> <p>2 本町は、サテライトオフィス開設に伴うフォロー体制などは確立されていないと思うので、地方創生の先進地に倣い、サテライトオフィス誘致を目的とした地域おこし協力隊を募集する事や、Wi-Fi 環境を整え、開設者への補助金の導入などを実施する方向にかじを切れないか伺う。</p>	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
				仁宇布地区から市街地への観光客誘導策について	<p>毎年、仁宇布の観光資源であるトロッコ王国及び松山湿原を目的に町外から観光客(トロッコ王国入国者は毎年一万人前後)及び入山者が数多く足を運んでいるが、そこから美深市街地へと誘導されて消費活動を行う事は少なく、そのまま町を出ることが多いという見方がある。</p> <p>行政でも上記の内容を把握しており、実態調査を目的として職員をトロッコ王国に派遣していると聞いているので、お互いに問題意識を持ち併せていると認識したうえで伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実態調査の結果から見えてきた状況と今後の課題と対応は。 2 市街地へ観光客を誘導する為に、トロッコ王国入国者が大幅に集中するゴールデンウィーク、お盆時期(数日で約1,000人入国)などに仁宇布地区で市街地の飲食店マップや市街地の魅力を伝えるリーフレットを配布することや、特産品や町の商品を販売して美深町の魅力を確実に知ってもらってはどうか(花たびそうやおもてなしの様な形態で) 3 現在でも本町で仁宇布観光資源に関連したツアー及びイベントは展開されているが、市街地と結びつけるようなツアー事業はないと思われる。今後、仁宇布観光資源を活かして美深経済及び関係人口に貢献する為のツアー事業を観光協会や旅行会社と連携する考えはないか。 4 交付金等を活用して、仁宇布の観光資源だけではなく市街地にインパクトのある観光地を作り出す考えは無いか。例として美深町のカントリーサインとして使われているチョウザメのネームバリューを最大限活用してチョウザメ館を拡充、拡大、増設した上で有料化していく事や、新たに他自治体にはない大型の遊具を建設するなど。 	町長